

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	『Literas 論理言語力検定』（『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中）2級					
③主な対象者	実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる語彙力・読解力・聴解力等の言語能力を身につけさせたい、高校1年生～3年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○					○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 教科の国語をベースとしながら、実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる言語能力を、育成・測定します。</p> <p>【概要】 以下の3領域で測定（級認定）する検定ですが、国語の学習指導要領に対応した「語彙運用力」「情報理解力（聴解・読解）」の2領域でPDCAを回して国語の授業改善に生かせるようにすることで、「学びの基礎診断」へ申請します（以下、申請書では原則2領域に関する部分について記載し、3領域に関わる部分は注記を入れます）。 なお、受検は3領域で行います。 ・論理的思考の基盤となる「語彙運用力」 ・実社会において様々な情報を理解するための「情報理解力（聴解・読解）」 ・視野を広げ、社会課題を理解するための「社会理解力」</p> <p>2級では特に、論理的文章の理解・アウトプットにつながる語彙力や、社会課題につながるテーマを的確に聴解・読解して正しく理解する力を育成・測定します。</p>					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長・活用例】 特に国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力の育成とその測定ツールとして活用できます。</p> <p>【P】 事前に教師は、該当学年の生徒の状態目標設定を行う。 生徒は、検定独自のCan Doリストから自らの目指す姿の目標設定を行う。</p> <p>【D】 国語の授業とあわせて、語彙力・読解力・聴解力に特化した教材で学習する。</p> <p>【C】 検定を受検し、結果を確認する。</p> <p>【A】 教師は、団体成績表から、生徒の現状を把握し、授業改善につなげる。 生徒は、自己採点をして内容を振り返るとともに、受検結果返却時に自分の学習の成果や課題を認識し、改善につなげる。</p> <p>※検定として公的な資格となるので、推薦・A0等の大学入試における級の合格結果の活用や多面的総合的評価の一つとして利用することが可能です。</p>					
⑧実施期間、年間実施回数	<p>【実施期間】 11月の規定日 【年間実施回数】 年1回 ※級認定を行う検定回は上記のとおりです。検定実施日以降も、級認定を行わない学校内のアセスメントとして、学校の希望する時期に実施可能です。 (2019年度の実施月は12月・1月・2月。以降、毎年4・5・6・7・9・10・12・1・2月に予定。)</p>					
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBT					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	50分 (※「社会理解力」を含む、3領域での時間)					
⑪受検料	<p>【検定】 2級：2,650円 ※すべて消費税等込み 【教材】 450円 ※すべて消費税等込み ※できるだけ、【検定】と【教材】をセットで使用することをお勧めします。</p>					
⑫標準返却期間	実施後約1か月					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<p>2018年6月末まで：『語彙・読解力検定』公式サイト (http://www.goi-dokkai.jp/) ※2019年度より『語彙・読解力検定』自体の大幅改訂を予定しています。サイトは改訂前のものです。 2018年7月以降：『Literas 論理言語力検定』（商標登録申請中）公式サイト設置予定。 (http://literas.benesse.ne.jp)</p>					

(様式 2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中)2 級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

※3 領域で測定 (級認定) する検定ですが、国語の学習指導要領に対応した「語彙運用力」「情報理解力 (聴解・読解)」の 2 領域で「学びの基礎診断」へ申請します (以下、申請書では原則 2 領域に関する部分について記載し、3 領域に関わる部分は注記を入れます)。なお、受検は 3 領域で行います。

I. 出題に関すること

(1) 出題の基本方針

- 主な対象者: 実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる語彙力・読解力・聴解力等の言語能力を身につけさせたい、高校 1 年生～3 年生
- 測定しようとする資質・能力: 「話すこと・聞くこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力 等
- 出題範囲: 2 級: 中学校「国語」と、高等学校「国語」の「国語総合」
- 主として知識・技能を問う問題の出題方針: 「語彙運用力」領域
⇒「語彙運用力」は、実生活の中で、相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができるかを測ります。
- 主として思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題方針: 「情報理解力 (聴解・読解)」領域
⇒「聴解」は、ニュースや会話文を的確に聞き取り、内容や状況を理解することができるかを測ります。
「読解」は、複数の連続・非連続テキストについて、関連づけや比較をしながら的確に読み取ることができるか、また、条件に従ってテキストと付加情報を関連づけた内容を記述することができるかを測ります。
- 学習指導要領との対応: [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] [A 話すこと 聞くこと] [B 書くこと] [C 読むこと] (別添 様式 4 に詳細を記載)。
- 難易度: 2 級: 高校卒業までに基本的に身につけておきたい資質・能力レベル。

(2) 構成等

①出題形式

選択式、記述式。

記述式は「読解」で 1 小問出題します (2 級: 30～60 字程度)。

「聴解」は、音声 CD で音声を流し、選択式の設定問に解答します。

②出題範囲

- ・高等学校段階の学習内容と義務教育段階の学習内容とのバランス:
2 級: 主として高等学校段階の学習内容を出題、義務教育段階の学習内容を一部含みます。
- ・各領域のバランス:
「語彙運用力」: 18 問程度
「情報理解力」: 聴解 2 大問 (10 問程度)、読解 2 大問 (8 問程度)

(3) 難易度設定の考え方・方法

あらかじめ、難易度の基準となる「基準テスト」や、評価尺度・級の合格基準等を、調査をもとに作成します。その作成した基準に照らして、毎年、問題事前調査を行い、出題要件に基づき作成した問題がめざす難易度になっているかを確認します。

(4) 基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・日常的に触れる機会の多い素材を用いて問題を作成します。
- ・文章のみではなく聴解分野で音声も用いることで、興味・関心を引き出す問題を作成します。

2級：

- ・進学後の学修の場面を意識させる問題設定や社会課題につながるテーマ設定を行うことで、学校での学習と進学後の学修に連続性をもたせ、学習意欲・学習習慣づけにつながる状態にします。

(5) その他特長

- ・検定回以外でも、級認定を行わないアセスメントとしての実施回を、学校の希望する時期にいつでも受検可能です（4・5・6・7・9・10・12・1・2月を予定）。最新の検定回で使用した問題を用いて実施します。
- ・検定として公的な資格となるので、推薦・A0等の大学入試における級の合格結果の活用や多面的総合的評価の一つとして利用することが可能です。

II. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

○片面で「学びの基礎診断」（国語）としての診断結果が分かりやすいように「語彙運用力」「情報理解力」の2領域、片面で「社会理解力」を含む3領域の成績を表示します。

（級認定は3領域の面に表示します。）

○成績に関する下記項目について、紙媒体1枚（両面）で学校を通じて返却します。

<結果提供項目>

- ①認定級 ②総合スコア ③各領域のスコア ④総合メッセージ ⑤観点別正解率
⑥分野別正解率 ⑦学習アドバイス ⑧受検時のアンケート回答結果 ⑨設問別正誤

<個別の内容>

- ①認定級：総合スコアから判定した結果として、認定した正級、準級、もしくは不合格を示します。
- ②総合スコア：測定範囲の中での自分の位置を確認できます。また、前回受検した際の位置も示すことで、学力の定着度合の伸びを示します。Can Doリスト（「～できる」の記述文による到達段階）も提示することで、何ができるかの目安を示します。
- ③各領域のスコア：領域別の測定範囲の中での自分の位置を確認できます。また、前回と比較して伸びている場合は、その旨を表示します。
- ④総合メッセージ：総合スコア・各領域のスコアをもとにして、何が得意なのかを示し、褒めて励ますメッセージを示します。
- ⑤観点別正解率：「情報理解力」領域で測定する3つの観点別に、正解率を確認できます。
- ⑥分野別正解率：各領域の下位項目である分野別に、正解率を確認できます。
- ⑦学習アドバイス：各領域で身につけている力と活用場面、今後どのような点を意識して学習するとよいかのアドバイスを示します。
- ⑧受検時のアンケート回答結果：受検時に回答した、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの回答結果を示します。
- ⑨設問別正誤：各設問の正誤判定結果を示します。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

- 団体成績表を PDF データ（一部 CSV）にてⅡ（1）と同時期に学校専用 WEB 成績システム（登録無料）で提供します。
- 下記、＜結果提供項目＞の②「団体結果」で、「学びの基礎診断」申請の「語彙運用力」「情報理解力」の2領域と、「社会理解力」を含む3領域とを分けて総合成績を表示します。

＜結果提供項目＞

- ①受検者個人成績結果一覧 ②団体結果 ③設問別クラス別正解率
- ④受検時のアンケート回答結果一覧

＜個別の内容＞

- ①受検者個人成績結果一覧：個人別の成績が一覧で確認できるとともに、前回受検した時から成績が伸びた生徒を確認することができます。当年度と過去2年分の成績を表示します。
- ②団体結果：学年・クラス単位で総合的な傾向を把握できます。
- ③設問別クラス別正解率：設問別・クラス別に正解率を確認することができ、どの設問で生徒がつまづいているのか、クラス別に傾向を確認できます。
- ④受検時のアンケート回答結果一覧：受検時に回答した、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの回答結果を一覧で表示します。

(3) 試験等の結果（正答状況やスコア等）に対する評価の考え方と分析の手法

- 結果表示方法：級ごとに、めざす到達度を2段階で設定し、1段階目をクリアすると「準級」、2段階目をクリアすると「正級」として認定します。1段階目をクリアできなかった場合は不合格となります。
※級認定は、「社会理解力」を含む3領域の合計スコアで認定します。
※各段階の到達度については、言語能力向上につながる主体性に関するアンケートと問題事前調査の結果を総合的に分析して作成した Can Do リストをもとに設定します。

○結果表示の算出方法と分析手法：

現在、計3回の問題事前調査の分析等を踏まえ、ベネッセ教育総合研究所アセスメント・教材研究開発室の協力のもと、評価方法を検討中です。

「基準テスト」と「本番テスト」の両方を、あらかじめ受検者と同レベルの集団に問題事前調査として解答してもらい、「本番テスト」の素点を「基準テスト」の素点の尺度に等化しておくことによって、過回とのスコアの比較を可能にします。

「基準テスト」として、IRTに基づいて作成したマスターテストを用いる、あるいは、級ごとに本番初回に実施するテストを基準とする方式のいずれかを検討しており、今後の分析によって決定します。前者の場合は、級ごとだけでなく、級をまたいだスコアの比較も可能になります。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

- 出題内容の妥当性：中学・高校の国語の学習指導要領に沿って、測定する力とその問い方等を難易度別に設定した出題要件に基づいて、作問を行っています。
- 信頼性：対象レベルの生徒のべ 5000 人程度に 3 回の問題事前調査を行った結果の基礎分析から、問題精度、難易度や解答時間の適正さ等を確認して評価軸の基準を作成します。その後、毎年作成する問題については、難易度が担保されているかどうかを問題事前調査で確認して、適切な問題セットを本番の出題とします。
- 作問の体制・方法：いずれの領域も、複数名による「問題審査会議」や、吟味スタッフによるチェックを経て問題の完成度を高めます。
「語彙運用力」：教科書・大学入試・一般書籍等を分析し、中高生に押さえてほしい語彙リストを出題範囲として設定して、その中から出題します。
「情報理解力（聴解・読解）」：問題事前調査の分析に基づいた作問要件として、難易度や形式、測定する力等を設定し、それらを踏まえて出題します。

(2) 学校における実施方法

- 実施マニュアルの整備や、問い合わせ対応（電話受付体制・営業担当者）も行い、負担がかからない支援体制を構築します。
- 学校単位、学年単位、クラス単位、希望者単位等、実状に応じて受検することが可能です。
- 学校には、以下①～④を行っていただきます。
 - ①検定実施日までに検定料の送金
 - ②送付物（実施資材）の内容確認【問題冊子、解答用紙、聴解問題用音声 CD、受検者集計表、「実施の手引き」、返送用小物類】
 - ③当日の試験監督（事前説明と聴解の CD 再生、回収等）
 - ④実施後の解答用紙の回収・発送

(3) 採点の方法と体制

- ベネッセでは、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。具体的には、記述式の問題の採点については、熟練した採点者が教科・問題単位で専任制のもと採点基準に則り採点を行います。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。加えて採点の合理化・迅速化に向け、答案のデジタル化による分割採点を実施しています。

(4) 情報管理体制

セキュリティ

- ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- 緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- 事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

○視覚障害ある受検者への配慮

受検校のご要望を受け、一部資料の拡大コピーを認めます。

○聴覚障害ある受検者への配慮

聴解問題の実施に際し、音声と同じスク립トを提供します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

「社会理解力」を含む3領域でのご用意です。

○事前学習教材

①マスターブック（仮称）【別売】※検定とセットで使用することをお勧めします。

- ・1回約10分で完結できる育成教材です。
- ・生徒の興味を引き出す導入と、スモールステップでのワークで構成します。

②マスターブック（仮称）補助プリント【無料】

- ・①の復習用に、無料でプリントを提供します。
- ・ベネッセ提供の学校専用サイトよりダウンロードできます。

○事後学習教材

出題の振り返りと復習ができる冊子を提供します。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

○検定受検者の言語能力向上につながる主体性に関するアンケートの実施

- ・言語能力向上につながる、日常や学校生活における意識や心がけの質問内容を受検の解答直前に実施します。
- ・アンケート項目は、事前調査で50項目程度の質問項目を因子分析し、「社会理解力」を含む3領域の成績と相関の高い質問項目の中から、10項目程度を利用します。
- ・Ⅱ（1）（2）で回答状況をフィードバックします。

(4) 個人受検の可否

○個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

○問題返却・解答解説の提供を行います。ただし、検定回は公平性を重視するため、実施日翌日以降に提供します。

(6) その他

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 2級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準					
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)	

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
受検者個人への結果提供内容	受検結果	資料1	○	
学校等への結果提供内容	団体成績表	資料2		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書	資料3
学校用実施マニュアル	実施の手引き 試験監督先生用マニュアル	資料4 資料5

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

参考見本

検定実施日は現在検討中のため変わることがあります。

Literas

論理言語力検定

2019年度のご案内

	学校申し込み(準会場)
実施(受検)形態	学校でご実施
検定実施日	11月1日(金)、11月2日(土) のいずれか1日 <small>上記日程では合わない場合はお問い合わせください。</small>
お申し込み方法	学校で取りまとめ、Webか電話でお申し込み
お申し込み締切日	10月18日(金)
受検結果発送予定日	12月上旬
受検結果送付先	学校
備考	* 受検結果は学校にまとめてお送りいたします。 * 学校単位で受検結果をまとめたデータをBenesse High School Online内のインターネットフォルダ上でご提供いたします。



TEL:0120-350455

通話料無料

受付時間/月~金 8:00~19:00 土 8:00~17:00(祝日、年末・年始を除く)

Literasの特長

- 基本的な語彙力・読解力を身につけることで、基礎学力を底上げし、出口(就職・進学)に役立つ力を身につけることができる。
- 学びを通して「やればできる」成功体験をもて、学習意欲・学習習慣づけができ、社会に参画するための言語能力が身につけられる。
- 論理的思考の基盤となる語彙力、社会知識・情報理解力を身につけることで、希望進路の実現に役立つ力を身につけることができる。
- 学びを通して社会課題への知識・理解を深め、社会に積極的に参画する姿勢と社会で活躍するための言語能力を身につけられる。

実施概要

級と 検定時間

級	2 級	3 級
検定時間	50分 最初の13分はリスニング	50分 最初の11分はリスニング

※上記以外に受検説明やアンケート記入などに10～15分程度必要です。

測定 レベル

級	2 級	3 級
特長	論理的文章の理解・ アウトプットにつながる語彙力や 社会課題につながるテーマを 的確に聴解・読解する力を測定。	実生活での確に 伝え合うための語彙力や 日常生活に関連した身近な話題を 的確に聴解・読解する力を測定。

出題領域



検定料

級	2 級	3 級
検定料 (税込)	2,650円	2,250円

お申し込みの流れ

1

●学校で取りまとめ

団体責任者の先生がお申し込みください。

2

●団体受検規約確認

準会場実施では団体受検規約にご同意いただくことが必要です。

3

●検定実施日決定

11/1(金)・11/2(土)のいずれか1日をご指定ください。
2日に分けての実施はできません。

4

●受検級・人数決定

団体受検規約に同意のうえ、Webかお電話でお申し込みください。
申し込み締切日：**10月18日(金)**

5

●お申し込み

Benesse High School Online◆URL⇒ <http://www.bhso.ne.jp>

ベネッセコーポレーションお客様サービスセンター◆TEL⇒**0120-350455**(通話料無料)
受付時間/月～金8:00～19:00 土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

6

●検定料のお支払い

お申し込み人数で検定実施日までにお振込みください。

7

●検定実施

実施の流れをご確認ください。(P.3)

実施前

検定実施日までに、検定料をご送金ください。

- この冊子に同封の弊社指定の払込取扱票に必要事項をご記入のうえ、検定実施日までに郵便局よりご送金ください(手数料検定事務局負担)。お支払いは「お申し込み人数」でお願いいたします。
- 払込取扱票には、今回お申し込みになる検定の「受検級」と「お申し込み人数」も必ずご記入ください。
- 郵便局がお渡りする振替払込請求書兼受領証は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。
- 一旦ご送金いただいた検定料は返金できません。欠席者・失格者・棄権者にも返金できません。ただし「特別返金制度」で定めた返金対象となる欠席理由に該当する場合は除きます。

02 広島 払込取扱票		通常払込料金を加入者負担	
012506	5100	665600	
株式会社ベネッセコーポレーション			
商品・教材名: Litemo 英語検定 2級 学生(第1回)分			
払込金額: 2,650円 × 89名 = 計 235,850円			
商品・教材名: Litemo 英語検定 3級 学生(第1回)分			
払込金額: 2,250円 × 191名 = 計 429,750円			
合計 665,600円			
振替払込請求書兼受領証			
012506 5100 665600			
株式会社ベネッセコーポレーション			
〇〇高等学校			

▲払込取扱票記入例

- 「特別返金制度」について
- 次の場合には、所定の手続きにより、既にお支払い済みの検定料をご返金いたします。
- 11月29日(金)までに申請書の提出が必要となりますので、該当者がいる場合は「お客様サービスセンター」までご連絡ください。
- ①忌引き(親等、日数の適用範囲は学校・団体の定める基準に準ずる)
 - ②公式大会への出場(大会主催者が国、地方団体、および全国的に組織された団体で、且つ、該当者が大会申込団体の代表選手としてその大会に出場する場合)
 - ③進級・進学・就職要件となる実習や試験など(その試験・授業・実習に参加しなければ、進級・進学・就職できない場合)
 - ④学校保健安全法施行規則に定められている感染症での学級閉鎖・学校閉鎖(ただし個人の出席停止には適応されない)
 - ⑤公共交通機関の途絶や遅延
 - ⑥疾病その他の理由による長期休学
 - ⑦受検申込後の転校・退学

受検資料 お届け

10月28日(月)までに、問題等の受検用資料をお届けします。内容をご確認ください。

- 送付物 ●問題冊子 ●解答用紙(マークシート) ●受検者集計表
●「実施の手引き」 ●返送用小物類 ●リスニング問題CD
- 問題冊子および解答用紙(マークシート)は受検者1名につき1部必要です。お申し込み級の問題冊子および解答用紙(マークシート)が必要部数届いていることをご確認ください。
 - 予備はお申し込み20名につき1セットの割合でお届けします。
 - 10月29日(火)までに届かない場合、部数に不足があった場合には、お手数ですが、ベネッセコーポレーション内「お客様サービスセンター」へ至急お電話ください。

実施当日

11月1日(金)、11月2日(土)、のいずれか1日でご実施ください。

- 最初にリスニングテストを行ってください。リスニングテスト終了後、中断せず続けて検定を実施してください。
- 検定の規定時間(50分)のほか、受検説明やアンケート記入などに10~15分程度必要です。
- 解答用紙(マークシート)は予備も含めてすべて回収させていただきます。

回収日

11月5日(火)に、解答用紙(マークシート)を発送してください。

- 団体責任者の方は、予備を含むすべての解答用紙(マークシート)を「実施の手引き」に従って梱包・発送してください。
- 回収手配はベネッセコーポレーションにて行います。
- 原則として、回収日の変更はできませんので、予めご了承ください。



11月9日頃までに、「解答解説冊子」をお届けします。

- 「解答解説冊子」は出題内容を振り返り、間違えた問題を正しく理解するための教材です。



▲解答解説冊子

12月上旬発送予定で、検定結果をお届けします。

【生徒用】「受検結果通知」、「合格認定証」(合格者のみ)

【教師用】「団体結果データ」

Benesse High School Online内のインターネットフォルダ上でご提供

- 団体結果データ
- 1.個人成績結果一覧
 - 2.団体結果概要
 - 3.団体結果スコア割合
 - 4.設問別結果詳細
 - 5.アンケート結果一覧



▲受検結果通知



▲合格認定証

学校申し込み(準会場)実施 申し込み締切日：10月18日(金)

お申し込み
Web

Benesse High School Online

URL <http://www.bhso.ne.jp>

※Benesse High School Onlineのご利用には、ID・ログインコード／パスワードが必要です。

<ID・ログインコード／パスワードに関するお問い合わせ先>

Webサポートデスク 0120-350124 (通話料無料)

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

お申し込み
お問い合わせ
お電話

ベネッセコーポレーション内「お客様サービスセンター」へお電話ください。

TEL:0120-350455 通話料無料

受付時間／月～金 8:00～19:00 土 8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

<株式会社ベネッセコーポレーションの個人情報の利用目的・取扱いについて>

本サービスでは、各学校・団体における本サービスの利用に際してご提供いただく受検者の個人情報を、受検結果の成績処理、受検結果通知および合格認定証、合格証明書の発行・発送の目的で利用します。また、ご提供いただいた情報を、個人が特定できない形式に匿名化し、弊社が保有する他の情報と併せて統計処理したうえで、本サービス結果の各種統計およびマーケティング基礎資料、販売資料、本サービス開発のためのデータとして利用することがあります。

これら基礎資料やデータには、個人を特定できる情報は一切掲載されませんので、ご安心ください。

なお、個人情報は各学校・団体および受検者の意思に基づきご提供いただくものとなりますが、不足がある場合弊社からの商品サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

弊社は本サービスの目的の範囲内で、個人情報の取り扱いの全部または一部を、自らの責任と負担において第三者に業務委託することがありますが、その場合には、当該第三者との間に委託契約書を交わし適切な管理をいたします。このような業務委託および法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前の同意なく第三者に提供することはありません。また、毎年の検定結果の総括、検定開発および合格証明書の発行の目的で一定期間、受検者の個人情報を保管いたしますが、その情報の取扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。

(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者)

個人情報の取り扱いおよび管理についてのお問い合わせは、お客様サービスセンター((株)ベネッセコーポレーション内)にて承ります。

0120-350455(通話料無料) 受付時間／(祝日、年末年始を除く) 月～金8:00～19:00 土8:00～17:00
〒700-8686岡山県岡山市北区南方3-7-17

(様式 4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 2 級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>【語彙運用力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実生活の中で、<u>相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができる。</u> ・実生活での活用度は高いが、高校生にとってはなじみの薄い<u>漢語を中心に、外来語・実用的な慣用句等の意味や用法等を理解できる。</u>(教科書・大学入試・一般書籍等を分析し、中高生に押さえてほしい語彙をリスト化。その中から、高校の教科書で初出の語を中心に扱う。) 	<p>【設問数】 18 問程度</p> <p>【出題形式】 選択式 (下線部の言い換え、短文での空欄補充) 4 肢 1 択</p> <p>サンプル問題 1 (1) ～ (4)</p>	<p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。 (オ) 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>国語総合 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（聴解）】</p> <p>・ <u>社会課題に関するニュース・会話文</u>について、1)～3)ができる。</p> <p>1) <u>情報を正確に聞き取ることができる。</u></p> <p>2) <u>聞き取った情報と、読み取った情報を関連づけて、情報を的確に理解することができる。</u></p> <p>3) <u>予測や推論をする等、聞き取った情報を社会の出来事や自身の経験と結びつけて吟味・評価することができる。</u></p>	<p>【設問数】 5問／大問</p> <p>【出題形式】 選択式（4肢1択）</p> <p>※聴解は全部で2大問出題。</p> <p>サンプル問題 2 問 1～5</p>	<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。</p> <p>国語総合 2A 話すこと・聞くこと (1) イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（読解）】</p> <p>・社会課題をテーマにした<u>複数の情報（文章・図表・グラフ等）</u>について、1)～3)ができる。</p> <p>1) <u>多様な情報から、目的や条件に合った情報を取り出すことができる。</u></p> <p>2) <u>読み取った情報を、整理や関連づけ、比較をしながら理解することができる。</u></p> <p>3) <u>予測や推論をする等、情報を社会の出来事や自身の経験と結びつけて、吟味・評価することができる。</u></p>	<p>【設問数】 3～4問／大問</p> <p>【出題形式】 選択式（4肢1択）</p> <p>※読解は全部で2大問出題。</p> <p>サンプル問題 3 問 1～3</p>	<p>C 読 む こ と</p>	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 2C 読むこと（1） イ 文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。 ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。</p> <p>国語総合 2C 読むこと（1） イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>【情報理解力（読解）】</p> <p>・条件に従い、本文と付加情報を関連づけた内容を記述することができる。</p>	<p>【設問数】 1 問／大問</p> <p>【出題形式】 記述式（30～60 字程度）</p> <p>※読解は全部で 2 大問出題。うち 1 大問で出題。</p> <p>サンプル問題 3 問 4</p>	B 書くこと	<p>中学校学習指導要領 国語〔第 2 学年〕</p> <p>2B 書くこと (1)</p> <p>ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第 3 学年〕</p> <p>2B 書くこと (1)</p> <p>イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。</p> <p>国語総合</p> <p>2B 書くこと (1)</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 2級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号):1

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」																							
出題のポイント	・実生活の中で、相手や目的に応じて語彙を選び、的確に伝え合うことができるかを測定する。 ・実生活での活用度は高いが高校生にとってはなじみの薄い漢語を中心に、外来語・実用的な慣用句などの意味や用法などを理解できているかを測定する。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)	○		(3)	○		(4)	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>(1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(3)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(4)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)	○			(3)	○			(4)	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
(1)	○																							
(2)	○																							
(3)	○																							
(4)	○																							
サンプル問題	問 下線部を言い換えたものとして最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選びなさい。 (1) 人工知能が人間の能力を <u>圧倒的に</u> 超える。 ① 凌駕する ② 乖離する ③ 逡巡する ④ 対峙する (2) <u>細かい部分</u> にとらわれて、大局を見失う。 ① 枝葉末節 ② 針小棒大 ③ 五里霧中 ④ 玉石混淆 問 空欄に当てはまる語として最も適当なものを、①～④のうちから一つずつ選びなさい。 (3) 業績不振が続き、赤字が <input type="text"/> した状態から立て直しを果たす。 ① 累積 ② 山積 ③ 蓄積 ④ 堆積 (4) TPPに関して、自由貿易と保護貿易のどちらを支持するか、 <input type="text"/> に陥る。 ① ジレンマ ② デフレーション ③ トートロジー ④ デフォルト																							
解答例	(1)～(4)すべて①																							
(参考)学習指導要領の関連項目	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項																							

- (イ) 抽象的な概念を表す語句，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，語感を磨き語彙を豊かにすること。
- (エ) 単語の活用について理解し，助詞や助動詞などの働きに注意すること。
- (オ) 相手や目的に応じて，話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕

2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

- (イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ，和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し，語感を磨き語彙を豊かにすること。

国語総合

2〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)

イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

- (イ) 国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解すること。
- (イ) 文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにすること。

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 2級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号(大問番号):2

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」										
出題のポイント	社会課題をテーマにしたニュース・会話文を正確に聞き取り、聞き取った情報と読み取った情報を関連づけて的確に理解し、吟味・評価する力を測定する。										
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問5</td><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1～問5	○	○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
問1～問5	○	○									
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問5</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	問1～問5	○				
小問番号	選択式	短答式	記述式								
問1～問5	○										
サンプル問題	別添「様式5別添1 (2級:聴解サンプル問題)」参照										
解答例	別添「様式5別添1 (2級:聴解サンプル問題)」参照										
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>問1～4 国語総合 2A 話すこと・聞くこと (1) イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>問5 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2C 読むこと カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2A 話すこと・聞くこと (1) エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。</p>										

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:『Literas 論理言語力検定』(『語彙・読解力検定』の後継検定。商標登録申請中) 2級

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

サンプル問題番号(大問番号):3

出題科目	中学校「国語」、「国語総合」														
出題のポイント	・社会課題をテーマにした複数の情報(文章・図表・グラフなど)から、目的や条件に合った情報を取り出し、整理や関連づけをしながら理解し、吟味・評価する力を測定する。 ・条件に従い、本文と付加情報を関連づけた内容を記述する力を測定する。														
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問4</td><td>○</td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問1～問4	○	○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等													
問1～問4	○	○													
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問1～問3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問4</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問1～問3	○			問4			○
小問番号	選択式	短答式	記述式												
問1～問3	○														
問4			○												
サンプル問題	別添「様式5別添2(2級:読解サンプル問題)」参照														
解答例	別添「様式5別添2(2級:読解サンプル問題)」参照(解答例+正答条件)														
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>問1 国語総合 2C 読むこと(1) イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>問2 中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 2C 読むこと(1) イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。</p> <p>問3 中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕 2C 読むこと(1) カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。</p> <p>問4 国語総合 2B 書くこと(1) ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p>														

2. これから放送する内容は、2018年7月の先生と生徒2人の会話です。何について話しているの
か注意して放送をよく聞き、後の問いに答えなさい。放送中に、問題用紙の余白を使ってメモ
をとってもかまいませんが、解答は解答用紙に記入してください。解答はいつ記入してもかま
いません。なお、放送は一回のみです。

聴解問題は、本来音声のみで解答するためスクリプトの掲載はありませんが、サ
ンプル問題では、問題難易度をご確認いただくため掲載しています。

【スクリプト】

(先生) 市販の漫画を無断でネット上に公開する「海賊版サイト」について、政府が特に悪質な3つのサイトの接続を遮断する
ように、インターネット接続業者に要請したことが話題になっているね。

(生徒A) そのニュースは知っています。でも、この要請に反対している人たちがいたけど、なぜなんだろう。政府は「接続
の遮断」を行うための法整備を始めたところですよ。

(生徒B) きちんと法制化するための議論を行わないで、特定のサイトの接続の遮断を政府がどんどん決めたら大変でしょ。
政府が自分に都合の悪いサイトを遮断できてしまうよ。それは検閲と同じことだよ。

(先生) 著作権侵害を防ぐために、接続の遮断を行っている国は40か国以上あるけれど、法律を整備したうえでやっている
ね。法律をきちんと作らなければいけない理由は、接続の遮断が憲法が定めている「通信の秘密」の侵害にあたるか
らでもあるよ。

(生徒A) どうして接続の遮断が通信の秘密の侵害になるんですか？

(先生) 特定のサイトにアクセスする際に接続の遮断をするためには、インターネットのユーザーがどのサイトを見ようとし
ているかを確認する必要がある。そのため海賊版サイトに接続しようとしている人だけではなく、全ての利用者の通
信内容を監視しなければいけない。だから、通信の内容や宛先を当事者以外には秘密とする権利が侵害されてしま
うんだ。

(生徒A) 全ての人の通信内容が監視されてしまうと考えると、確かに問題ですね。

(先生) でも、出版社や著者の被害はとても大きいんだよ。紙と電子版を合わせた漫画の売り上げは前の年より2.8%減少し
ていて、それは海賊版サイトへのアクセスが増えた結果だ、という説もある。著作権者側の被害額は4000億円以上
とも考えられているそうなんだ。

(生徒B) 確かに大きな損害ですね。これほど大きな被害額となっているからこそ、政府もこの接続の遮断は緊急避難であり、
憲法違反には当たらないと言っているんですね。

(生徒A) でも著作権の侵害だけではなく、名誉毀損やプライバシー侵害をしているサイトも接続を遮断しようとどんどん拡
大したらどうなるんでしょう。

(生徒B) 確かに、そうすると表現の自由も侵害されるようになるかもしれない。

(先生) 難しい問題だね。最後に問題を提起しておきたいんだけど、そもそも海賊版サイトが存在するということは、利用す
る人がいるということなんだ。だから、これらの人々への対策もきちんと講じないといけないのではないだろうか、
と私は考えているんだよ。

(生徒B) 他人事ではないということですね。私たちが気をつけるべきことを、考えてみたいです。

問1 会話の中で話題になっている、政府が進めようとしていることはどのようなことですか。最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 海賊版サイトを撲滅するために必要な著作権法の改正。
- ② 海賊版サイトに対しての接続の遮断を行うための法整備。
- ③ 海賊版サイトの被害を受けた著者を保護するための法整備。
- ④ 海賊版サイト閲覧者を監視するために必要な憲法の改正。

問2 政府のインターネット接続業者への要請に対して反対する人たちの、反対する理由として**適当でない**ものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 政府が法制化する議論を行わないで遮断を要請したこと。
- ② 政府が自分に都合の悪いサイトを遮断できてしまうこと。
- ③ 実際に接続の遮断を行っている国は40か国程度しかないこと。
- ④ この要請は憲法が定めている「通信の秘密」の侵害にあたること。

問3 先生と生徒の会話からわかる、政府が進めている法整備の問題点として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 今のままでは著作権侵害を防ぐ手立てが法的にないため、出版社や著作権者を守ることができないこと。
- ② 通信内容の確認によって、サイト運営者のプライバシー侵害という新たな問題を引き起こしてしまうこと。
- ③ 通信内容の監視は、結果として海賊版サイト利用者の表現の自由を侵害してしまうということ。
- ④ 海賊版サイトにアクセスしようとしている人だけでなく、全ての人の通信内容を確認する必要があること。

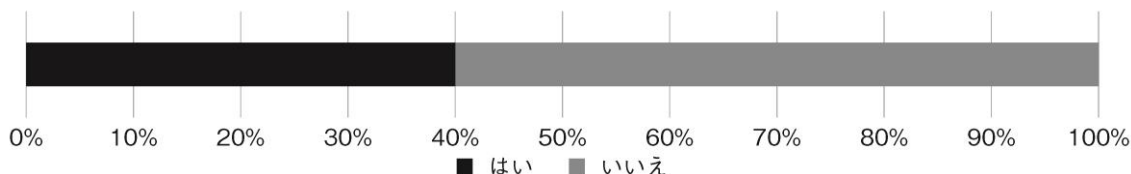
問4 政府が、接続の遮断を求めることは憲法違反ではないとしている根拠として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 漫画の売り上げの減少
- ② 緊急避難
- ③ 名誉毀損
- ④ プライバシー侵害

問5 海賊版サイトについての話し合いを経て、2人の生徒は学校の全校生徒を対象に、海賊版サイトの利用についてのアンケートを取りました。話し合いとアンケートを元に出した対策案の中で、**先生が述べていた問題提起に対する解決策**として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

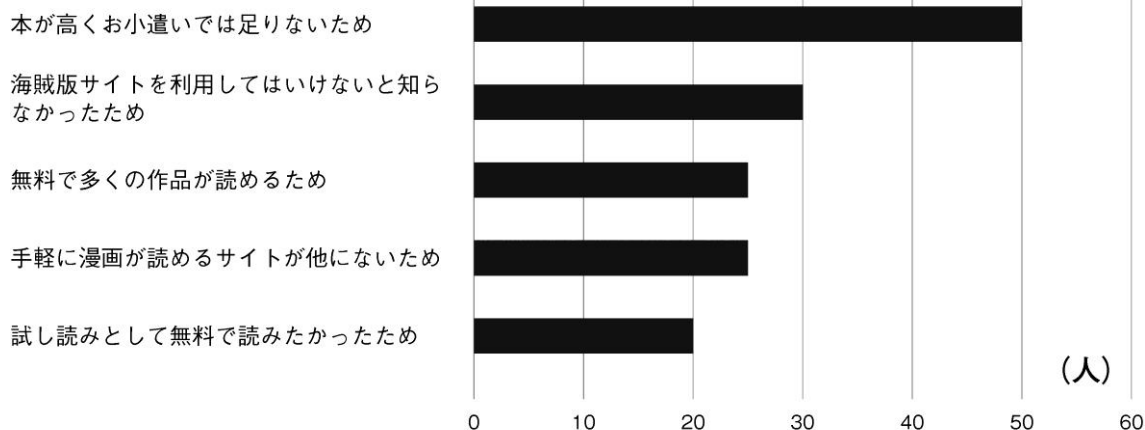
【アンケート】

Q1 海賊版サイトを閲覧したことはありますか



Q2 なぜ海賊版サイトを利用したのですか

(Q1で「はい」と答えた方のみ)



- ① 利用者が気づかぬうちに著作権侵害をしまわぬよう、啓発のキャンペーンを行う。
- ② 出版社が本に広告を導入するなどの工夫を行い、本の値段を今よりも大幅に下げる。
- ③ 海賊版サイトより読みやすく品揃えが豊富な電子書籍サイトを、出版業界で立ち上げる。
- ④ 利用者への取り締まりを強化し、海賊版サイトの利用履歴を元に罰則を科せるようにする。

< 正解 >

問 1 : ②

問 2 : ③

問 3 : ④

問 4 : ②

問 5 : ①

3. 次の資料を読んで後の問いに答えなさい。

【記事1】

2016年の訪日外国人客数は2403万9000人で、前年比21.8%増。一方で、観光庁が調べた16年の外国人延べ宿泊者数は8.5%増（12月の数字は1次速報値で集計）にとどまる。月別に見ると、訪日人数、延べ宿泊数ともに伸びが鈍化しているが、両者が描くグラフの線に違いが出てきた。外国人宿泊数は8月や10月が単月で前年比マイナスになるなど、落ち込みが大きい。国・地域別で見ても宿泊者数の伸び悩みがわかる。統計のギャップを現場で探してみると・・・。

24時間眠らない関西国際空港。1月の週末の午前0時。旅客ターミナル「エアロプラザ」近くの休憩スペースに40人ほどの訪日外国人がいた。深夜便で到着したばかりというタイ人女性のオラワンさんは家族5人で毛布を膝に掛け、あしたからの10日間の日本旅行について会話を弾ませていた。今夜はここで一夜を明かすのだという。

「化粧品など買い物に夢中になっていたらホテル代がなくなった」と話すのは、夫と妹と3人で台湾から前日に来日したという黄恩顛さん。ふと仮眠できる場所が関空にあるというネット情報を思い出し、ホテル代わりにすることにした。

（日本経済新聞電子版 Visual Data ～データや映像で体感 2017年1月31日より作成）

* 出題の都合上、中略した箇所があります。

【記事2】

観光庁は16日、旅館業界に対して部屋料金と食事料金を別建てとする「泊食分離」の導入を促していく方針を明らかにした。日本の多彩な食文化を楽しみたい長期滞在の外国人旅行者らのニーズに対応し、旅館の稼働率を上げる狙いがある。将来的にモデル地区を指定し、宿泊客が利用する飲食店の誘致にも取り組む考えだ。

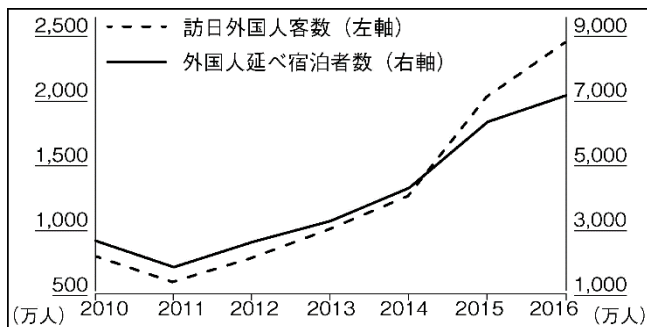
2016年の宿泊旅行統計調査によると、客室稼働率はシティホテルが78.7%、ビジネスホテルが74.4%であるのに対し、旅館は37.1%と低迷している。

現在、日本の旅館は「1泊2食付き」が主流。観光スタイルが多様化し、長期滞在の外国人や個人の旅行者が増加する中、似たような食事が続く「1泊2食付き」は敬遠されがちで、稼働率低下の一因となっている。一方、旅館は日本の伝統文化を体験できる上、景観の優れた場所に立地していることが多く、潜在的な集客力は大きい。

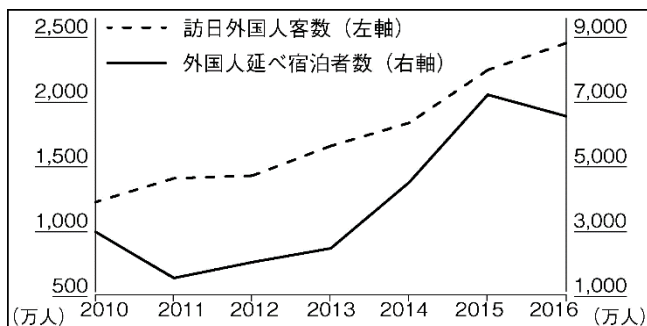
（時事ドットコムニュース 2017年8月16日より作成）

問1 【記事1】で説明されている内容を表したグラフとして最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

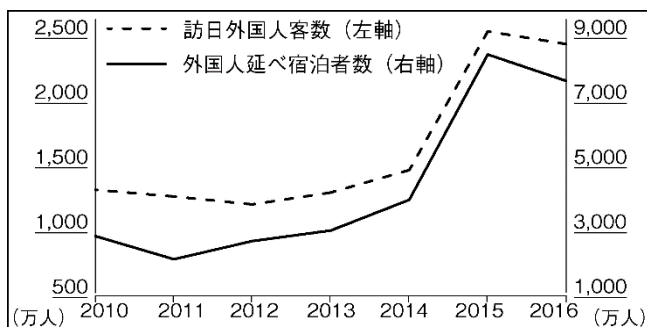
①



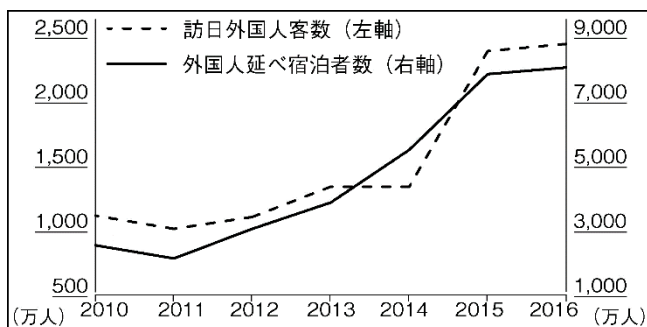
②



③



④



出典：訪日外国人客数：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（年表）」をもとに作成
 (https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/)
 外国人延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに作成
 (http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html)

問2 問1のグラフで表される状況はどのようなことが原因で生じたのですか。【記事1】から考えられる説明として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 訪日客が旅行に使える費用が年々減少するなかで、買い物や観光に重点を置く人が増えていること。
- ② 空港が、訪日客を対象にした新しい事業として様々なホテルと提携していること。
- ③ 訪日客の増加がホテルや旅館業界の予想を超えていたため、宿泊できる施設が不足していること。
- ④ 宿泊費を節約するために、空港などを宿泊場所代わりに利用する訪日客が増加していること。

問3 【記事2】ではどのようなことを問題点として取り上げていますか。その説明として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① 観光地の宿泊施設の稼働率が、総じて低下傾向にあること。
- ② 旅館の稼働率が、他の宿泊施設と比較して低迷していること。
- ③ 旅館の経営者が、潜在的な集客力に気づいていないこと。
- ④ 観光庁が示した方針が、旅館業界の意向を無視していること。

問4 【記事2】では、問題点を解決する方法の一つとして「泊食分離」を挙げていますが、この方法のどのような点が問題の解決につながるのですか。「泊食分離」の内容を明らかにして説明しなさい。

<条件> 50字程度で書くこと。

<正解>

問1：①

問2：④

問3：②

問4：

(正答例)

「宿泊と食事を別料金にすることで、日本の多彩な食文化を楽しみたい訪日客が旅館に泊まりやすくなる点。」

(48字)

(正答の条件)

- ・「泊食分離」の具体的な内容が書けている。
- ・(泊食分離によって)日本の多彩な食文化を楽しみたい外国人旅行者らのニーズに対応でき、旅館が利用しやすくなるという内容が書けている。